

NR-06-0003

2006年9月4日

報道関係各位

平田機工株式会社 第8世代液晶ガラス基板搬送ロボットを発表

生産エンジニアリングメーカーである平田機工株式会社（社長：米田 康三 資本金：10億9千9百万円 本社：東京都品川区戸越 3-9-20 熊本本部：熊本県鹿本郡植木町一木 111）は、第8世代液晶ガラス基板（2500×2200mm）搬送ロボット「AR-J820（走行軸なし）、CR-J820（走行軸付）」（2ページ写真）を発表した。

同社は、具体的な大量の引き合いに基づいて受注確保に向けた開発に取り組み、開発に成功したもので、既に量産体制に着手している。

◇ 特長 カスタマイズ性に優れた高速第8世代液晶ガラス基板搬送ロボット

この「AR-J820」は、Z軸デュアルマスト方式により、ハンドの昇降時および本体回転時の振れが少なく、かつニーズに合わせたストローク対応等のカスタマイズ性を向上させた。

基板入れ替え時間の短縮のため、ハンド軸はダブルハンドの直行方式を採用。また、このハンド軸のたわみを補正するためのチルト軸を追加した。また、センサーによる自動位置補正機能（オートアライメント機能）とメカニカルアライナを併設することにより、信頼性の高い世代最高クラスの高速搬送を実現した。

その他、本体にコントローラーを組み込むなど、省スペースを実現すると共に、ケーブル断線等のトラブル防止に対しても各種の改善を加え、高い信頼性を実現している。本体のみの販売価格は「AR-J820」で1,500万円、年間生産台数は300台を見込んでいる。

この件に関するお問い合わせ
経営企画部 広報室

松波 t_matsunami@hirata.co.jp

吉田 m_yoshida1@hirata.co.jp

Phone: 096-272-5558

Fax: 096-272-3618

第 8 世代液晶ガラス基板搬送ロボット CR-J820



以上